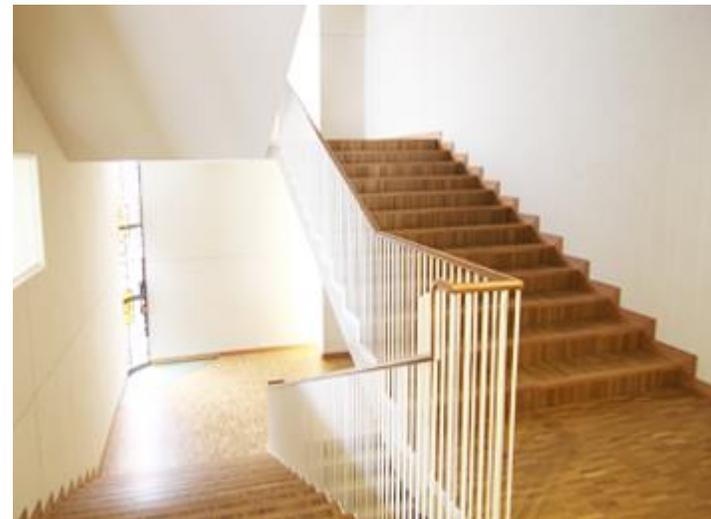


G 1915



和歌山信愛中学校高等学校

Wakayama Shin-ai



プログラムの紹介



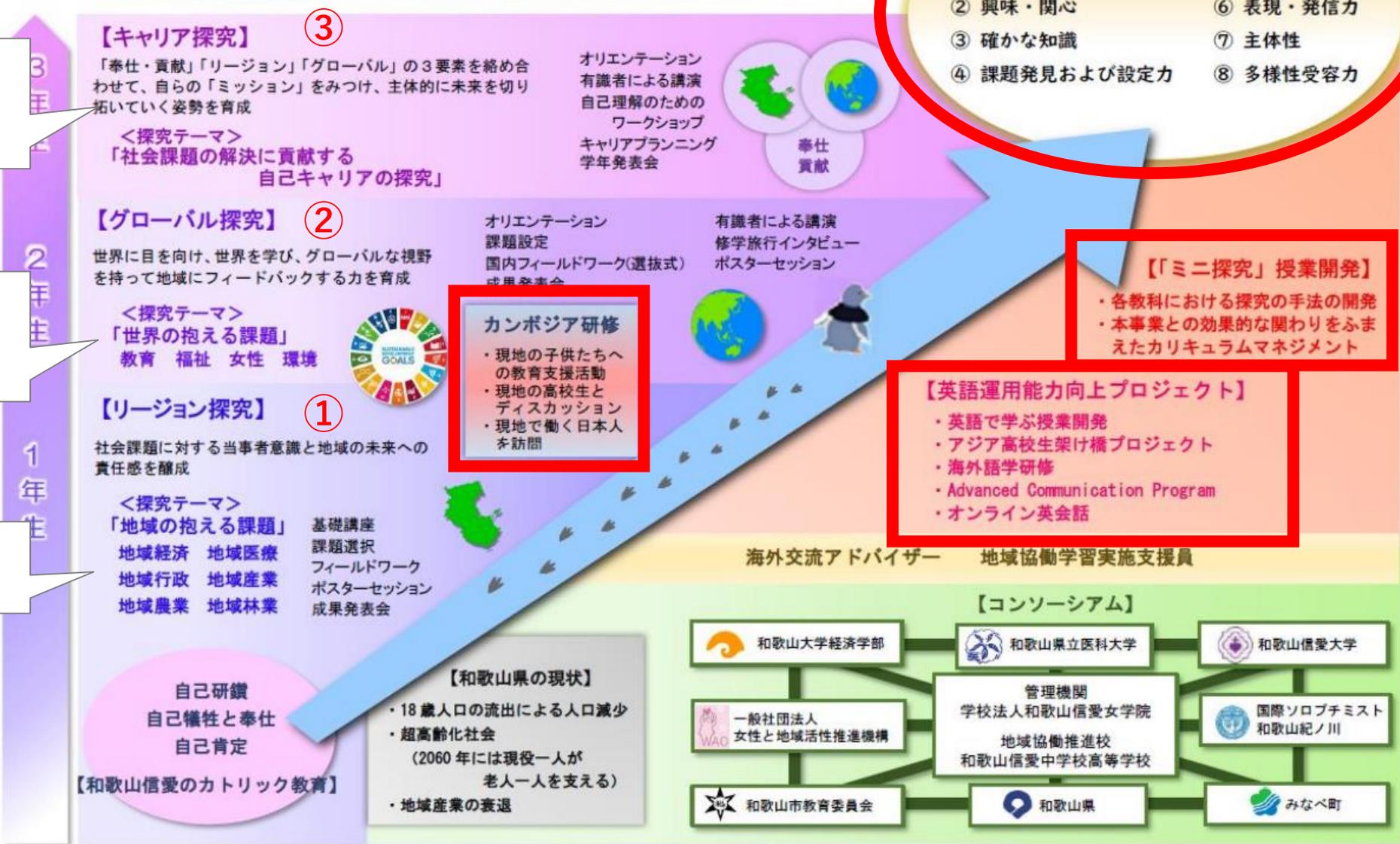
和歌山発！地域の未来を拓く鍵となる

「Key Girl」育成プログラム

範囲や枠がない状態で自分で課題を設定

決められた範囲の中から自分で課題を設定

地域による課題の提示



「Key Girl」の資質

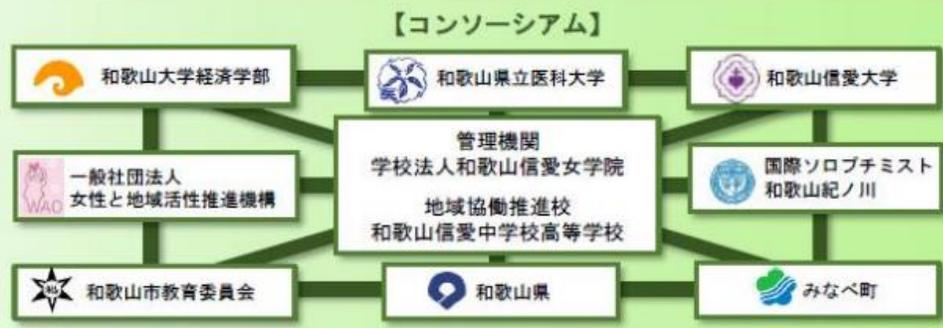
- ① 献身性
- ② 興味・関心
- ③ 確かな知識
- ④ 課題発見および設定力
- ⑤ 課題解決力
- ⑥ 表現・発信力
- ⑦ 主体性
- ⑧ 多様性受容力

【「ミニ探究」授業開発】

- ・各教科における探究の手法の開発
- ・本事業との効果的な関わりをふまえたカリキュラムマネジメント

【英語運用能力向上プロジェクト】

- ・英語で学ぶ授業開発
- ・アジア高校生架け橋プロジェクト
- ・海外語学研修
- ・Advanced Communication Program
- ・オンライン英会話



カリキュラム開発に係る成果・課題

探究プログラム

【成果】

指定初年度に高校2年生をプレ学年として配置

→生徒、教員ともに本事業プログラムの認知・理解が向上

→改善を行った上で、本実施

アンケートから見えたこと

「Key Girl」の土台となる「地域の未来を切り拓く人材」

としての意識が向上

発表会の運営

【成果】

コロナ禍における口頭発表の手法の確立

- ・発表と視聴を別室にすることで感染対策
- ・ロイロノート for Schoolの提出箱を用いた質疑応答
 - 教員が質問を精査することで「模範的な質問」を可視化
 - 全員が質疑応答に参加

その他のプログラム

- ・「ミニ探究」授業開発 【初年度～】

【課題】

個人によって取り組みに差があり、体系的には進まず

- ・「英語で学ぶ」授業開発 【昨年度～】

【課題】

新型コロナウイルスへの対策に時間をとられ、手をつける
ことができません

海外研修（カンボジア）

初年度：予定通りに実施

生徒に大きな衝撃を与えるものに → 主体的な進路選択へ

昨年度：新型コロナウイルスの影響で、渡航中止。

全国5校でオンライン合同カンボジア研修会を開催

【成果】

SGHアソシエイト期から続く学校間の横の繋がりを維持

【課題】

実際に現地を訪問した初年度ほどの衝撃を生徒に与えることができなかった

海外研修（カンボジア）

今年度：生徒の渡航中止は継続
合同カンボジア研修は今年度も実施

【昨年度の課題の解消を目指して】

教員が単独でカンボジアに渡航

- ・ 現地教育施設の取材
- ・ ロールモデルとなるような方にインタビューを敢行

3月に動画とオンライン（双方向）を組み合わせた

「ハイブリッド型海外研修」を10名の生徒とともに実施

海外交流アドバイザー、地域協働学習指導員 コンソーシアム等に係る成果・課題

①海外交流アドバイザー、地域協働学習指導員について

【成果】

コロナ禍の中においても、海外や地域の各機関と協働した学びの形を模索。最大限の協力を得られた

【課題】

各教員における探究活動の本質的理解のばらつき
→地域共同学習指導員任せとなってしまう場面も
教員が主導権を握って運営する必要性

②コンソーシアムについて

【成果】

- ・講師派遣、発表会視聴、講演主催など多岐にわたり協力を得る
- ・活動内容を外部発信したことで、株式会社マイナビが新たにコンソーシアムに参加

【課題】

コンソーシアム参加機関によっては代理出席のみ
→実務レベルの課に依頼すべきか